

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2003-207012
起案日	平成20年 8月18日
特許庁審査官	小林 勝広 9061 5G00
特許出願人代理人	井上 学 様
適用条文	第29条第2項、第36条

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものです。これについて意見がありましたら、この通知書の発送の日から60日以内に意見書を提出してください。

理 由

1. この出願の下記の請求項に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記 of 刊行物に記載された発明又は電気通信回線を通じて公衆に利用可能となった発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第29条第2項の規定により特許を受けることができない。

記 (引用文献等については引用文献等一覧参照)

・請求項1-3、10 (文献1-2参照)

文献1には、携帯電話によって送信可能なIDを有する非接触ICカードと、ICカードの情報を格納するGISのデータベースと、アンテナと、携帯用のパソコンと、情報管理センターとを有する地面に差し込める杭型形状の収容器を有する情報杭の空間情報システムが記載されている。

また、文献2 (0018-0053、図1-3等) には、計測値を無線通信によって送信可能なセンサを格納した地面に差し込むだけで設置できる測定プローブが記載されている。

・請求項4-9 (文献1-3参照)

文献3には、「現地で非接触IC杭を検知して、その杭の基本情報を参照できる」(第59頁左欄第14-16行)、「GISのデータベースを検索して表示している」(第59頁左欄第20-22行)、「非接触IC杭に含まれるIDをキーとして移動体通信によりGISセンターのデータベースを検索して参照する」(第59頁左欄第23行-中欄第1行)、「RTK-GPSで計測した位置情報を非接触IC杭に書き込む、あるいは非接触IC杭から読み取った座標をもとに、RTK-GPSの絶対座標を局地座標に変換するなどの双方向のデータ交換

がある」(第59頁中欄第20-25行)、および、「非接触IC杭の読取りセンサーをトータルステーションに接続して、直接、杭の情報をトータルステーションに取込システム」(第59頁右欄第10-14行)が記載されており、また、表示部にアイコン、ボタンとともにウインドウ表示する点も記載されている(第58頁、図-2および写真-2)。

2. この出願は、特許請求の範囲の記載が下記の点で、特許法第36条第6項第2号に規定する要件を満たしていない。

記

特許請求の範囲には、「前記」と記載されるものの、請求項1又は当該請求項に対応する構成が存在しない請求項がある。

拒絶の理由が新たに発見された場合には拒絶の理由が通知される。

引用文献等一覧

1. 榎本秀樹, 非接触ICカードとGISを用いた空間情報システム,
第23回土木情報システムシンポジウム講演集, 社団法人 土木学会,
1998年10月27日, p.31-34
2. 特開2000-39342号公報
3. 佐田達典, 建設分野における空間情報利用の取組み, JACIC情報,
財団法人 日本建設情報総合センター, 1999年7月30日,
Vol.14, No.2, p57-60

(注) 法律又は契約等の制限により、提示した非特許文献の一部又は全てが送付されない場合があります。

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野

G01C 21/00
G01D 9/00-9/42、15/00-15/34
G08G 1/0969
G09B 23/00-29/14

・先行技術文献

特開昭62-263412号公報
特開平11-230791号公報

特開 2 0 0 1 - 2 1 6 6 1 号公報

この先行技術文献調査結果の記録は、拒絶理由を構成するものではない。